

教会学校(CS)の起源

世界中に教会学校がある

月曜日から金曜日、小学校、中学校がある。 学校で勉強する

国語、算数、理科、社会、体育、音楽

教会学校 勉強する 天地も私たちが造った神様について、イエス様についての勉強

一番最初の教会学校 日曜学校、今から200年ほど前に始まった。(1780年7月、英国)
イギリス(グロスターという町)

Robert Raikes (ロバート レイクス)

お父さんは、新聞社を始めた人

おじいさんは、教会の牧師先生

お家の人は皆、熱心なクリスチャン

そのころ、世界中、いろいろな機械が発明された、工場がどんどんつくられた
大勢の人が工場で働くようになった。女の人、子供
働けば お金がもらえる 欲しいものが買える
お金が欲しくて悪いことをする人もいる。 監獄が満員

ある日、ロバートは、グロスターの町はずれに用事があって行った。

そこには貧しい人たちが住んでいて、びんを作る工場で働いていた。

子供たちは、ほったらかしにされ、ぼろの服を着て、乱暴でいじわる、弱い者いじめをしていた。

工場が休みの日(日曜日)は、もっと大変。けんかや泥棒、ケガをする人もいた。

ロバート「何とかして子供たちを立派にしたい。正しく素直で、思いやりのある子供になってほしい。それには、神様のことを教えなくては...、そして、字も読めるようになってほしい...」

ロバートは、日曜日に、6~12歳までの子供を集めて、日曜学校を始めた。

女の先生たちにも手伝ってもらう。

日曜日、10:00-12:00 勉強。昼食(家に帰って食べて) 1:00-5:30 勉強

日曜日の朝 教会の礼拝の時間 みんなを連れて教会にも行った。

「あんた、日曜学校に行ってるの」

「うん」

「私も行きたい」

6,7年のうちに、イギリス国中、25万人もの子供が、あちこちに出来た教会学校にや
って来た。手伝う先生も増えた。

日本でも神様を信じる大人たちは、いつも子供たちが神様の子供として育ててほしいと願っている。

教会の仕事 幼稚園や保育園

小・中学校をつくったり

日曜日には、子供たちが教会に来て、神様のことをもっと分かって欲しいと一生懸命つくしてきた。

教会学校は、貧しい子供を助ける為だけにあるのではない。

今、日本中、物があふれている。(食べ物、着る物、おもちゃ)

でも、私たちは、神様の考えに反対して、自分勝手なこと、我が儘、悪いことをしてしまう。

みんなで神様のお考えがもっと分かるように勉強しましょう。

ずっと続いてきた教会学校が、もっともっと続いていくように、大勢のお友だちを誘ってきましょう。

みんなで教会学校を、楽しいすばらしい学校にしましょう。

教会学校 よくできる子、できない子、なんていない。みんな同じ神様の子供

試験もない。点数も付けない

教科書は、聖書とさんびか(大人も子供も同じ)

教会学校の5つの約束(わたしたちの5つのつとめ) さんびかのうしろ

1. 聖書をよむ
2. お祈りをする
3. 教会学校を休まない
4. 献金をする
5. お友だちを誘う